

工業簿記 単純総合原価計算

パターン I 【先入先出法・完成品負担】

A工場は製品Xを生産・販売し、実際総合原価計算を採用している。次の【資料】にもとづいて、答案用紙の総合原価計算表の（ ）内に適切な金額を記入しなさい。なお、原価投入額合計を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法として先入先出法を用いること。

【資料】

1. 生産データ

月初仕掛品量	1,800 kg (50%)
当月投入量	<u>35,000 kg</u>
合計	36,800 kg
差引：正常仕損量	800 kg
月末仕掛品量	<u>2,000 kg (50%)</u>
完成品量	<u><u>34,000 kg</u></u>

2. 原価データ

月初仕掛品原価	
材料費	324,000 円
加工費	<u>225,000</u>
小計	<u>549,000 円</u>
当月製造費用	
材料費	7,700,000 円
加工費	<u>9,772,000</u>
小計	<u>17,472,000 円</u>
合計	<u><u>18,021,000 円</u></u>

- (注)
- ・（ ）内は加工費の進捗度である。
 - ・材料費は工程の始点で投入している。
 - ・正常仕損は工程の終点で発生しているため、正常仕損費はすべて完成品に負担させる。
 - ・仕損品に処分価額は無い。

総合原価計算表

(単位：円)

	材 料 費	加 工 費	合 計
月初仕掛品原価	324,000	225,000	549,000
当月製造費用	7,700,000	9,772,000	17,472,000
合 計	8,024,000	9,997,000	18,021,000
差引：月末仕掛品原価	440,000	280,000	720,000
完成品総合原価	7,584,000	9,717,000	17,301,000

参考メモ【仕掛品ボックス】

仕掛品－材料費 (Fifo)

月初有高	1,800 kg @180 324,000 円	当月完成	34,000 kg 7,584,000 円
当月投入	35,000 kg @220 7,700,000 円	仕 損 費	800 kg
		月末有高	2,000 kg 440,000 円

仕掛品－加工費 (Fifo)

月初有高	900 kg @250 225,000 円	当月完成	34,000 kg 9,717,000 円
当月投入	34,900 kg @280 9,772,000 円	仕 損 費	800 kg
		月末有高	1,000 kg 280,000 円

パターンⅡ【平均法・両者負担】

B工場は製品Yを生産・販売し、実際総合原価計算を採用している。次の【資料】にもとづいて、答案用紙の総合原価計算表の（ ）内に適切な金額を記入しなさい。なお、原価投入額合計を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法として平均法を用いること。

【資料】

1. 生産データ

月初仕掛品量	2,000 kg (60%)	2000	1200
当月投入量	<u>4,000 kg</u>	3600	3800
合計	6,000 kg	5600	5000
差引：正常減損量	400 kg		
月末仕掛品量	<u>1,500 kg (60%)</u>	1500	900
完成品量	<u><u>4,100 kg</u></u>		

2. 原価データ

月初仕掛品原価			
原料費	2,800,000	円@1400	
加工費	<u>2,160,000</u>	@1800	
小計	<u>4,960,000</u>	円	
当月製造費用			
原料費	6,048,000	円@1680	A1580
加工費	<u>9,500,000</u>	@2500	A2332
小計	<u>15,548,000</u>	円	
合計	<u><u>20,508,000</u></u>	円	

- (注)
- ・（ ）内は加工費の進捗度である。
 - ・原料費は工程の始点で投入している。
 - ・正常減損は工程の途中で発生しているため、正常減損費は完成品と月末仕掛品の両者に負担させる。
 - ・仕損品に処分価額はない。

総合原価計算表

(単位：円)

	原 料 費	加 工 費	合 計
月初仕掛品原価	2,800,000	2,160,000	4,960,000
当月製造費用	6,048,000	9,500,000	15,548,000
合 計	8,848,000	11,660,000	20,508,000
差引：月末仕掛品原価	2,370,000	2,098,800	4,468,800
完成品総合原価	6,478,000	9,561,200	16,039,200

参考メモ【仕掛品ボックス】

仕掛品－原料費

月初有高	2,000 kg	当月完成	4,100 kg
	2,800,000 円		6,478,000 円
当月投入	4,000 kg		
	3,600 kg	減 損 費	(400 kg)
	6,048,000 円		
(2,800,000+6,048,000) ÷		月末有高	1,500 kg
(2,000+3,600) = @1580			@1580
			2,370,000 円

仕掛品－加工費

月初有高	1,200 kg	当月完成	4,100 kg
	2,160,000 円		9,561,200 円
当月投入	4,200 kg		
	3,800 kg	減 損 費	(400kg)
	9,500,000 円		
(2,160,000+9,500,000) ÷		月末有高	900 kg
(1,200+3,800) = @2,332			2,098,800 円

パターンⅢ【総合問題】

C工場は製品Zを生産・販売し、実際総合原価計算を採用している。次の【資料】にもとづいて、以下の問いに答えなさい。なお、原価投入額合計を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法として先入先出法を用いること。

【資料】

1. 生産データ

月初仕掛品量	4,000 kg (50%)
当月投入量	<u>60,000 kg</u>
合計	64,000 kg
差引：正常仕損量	1,000 kg
月末仕掛品量	<u>3,500 kg (50%)</u>
完成品量	<u><u>59,500 kg</u></u>

2. 原価データ

月初仕掛品原価	
A 原料費	560,000 円
加工費	<u>320,000</u>
小計	<u>880,000 円</u>
当月製造費用	
A 原料費	10,800,000 円
B 原料費	720,000
加工費	<u>9,037,500</u>
小計	<u>20,557,500 円</u>
合計	<u><u>21,437,500 円</u></u>

- (注)
- ・ () 内は加工費の進捗度である。
 - ・ A原料費は工程の始点で投入している。B原料費は工程の70%の時点で投入しており、B原料費はすべて完成品に負担させる。
 - ・ 正常仕損は工程の終点で発生しているため、正常仕損費はすべて完成品に負担させる。
 - ・ 仕損品に処分価額は無い。

問1 答案用紙の総合原価計算表の()内に適切な金額を記入しなさい。

総合原価計算表

(単位：円)

	A 原料費	B 原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	560,000	0	320,000	880,000
当月製造費用	10,800,000	720,000	9,037,500	20,557,500
合計	11,360,000	720,000	9,357,500	21,437,500
差引：月末仕掛品原価	630,000	0	262,500	892,500
完成品総合原価	10,730,000	720,000	9,095,000	20,545,000

問2 上記【資料】について、同じデータで仕損品の売却による処分価額を1kg当たり90円としたときの完成品総合原価を計算しなさい。

完成品原価

20,455,000

円

正常仕損品評価額：1,000 kg × 90 円 = 90,000 円

完成品総合原価：20,545,000 円 - 90,000 円 = 20,455,000 円

参考メモ【仕掛品ボックス】

仕掛品－A原料費

月初有高	4,000 kg @140 560,000 円	当月完成	59,500 kg 10,730,000 円
当月投入	60,000 kg @180 10,800,000 円	仕損費	1,000 kg
		月末有高	3,500 kg @180 630,000 円

仕掛品－B原料費

月初有高	0 kg 0 円	当月完成	60,000 kg 720,000 円
当月投入	60,000 kg 720,000 円	仕損費	
		月末有高	0 円 0 円

仕掛品－加工費

月初有高	2,000 kg @160 320,000 円	当月完成	59,500 kg 9,095,000 円
当月投入	60,000 kg 60,250 kg @150 9,037,500 円	仕損費	1,000 kg
		月末有高	1,750 kg @150 262,500 円